スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 津南町

自 治 体 名 ： 新潟県津南町
担 当 課 名 ： 津南町教育委員会
電 話 番 号 ： 025-765-3134

1.自治体の基本情報

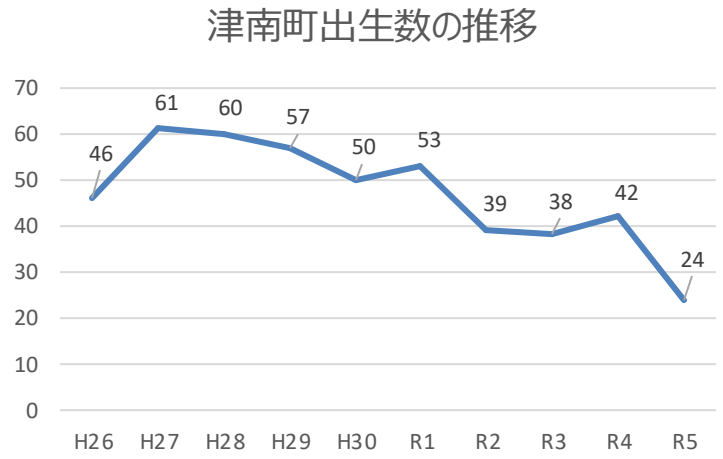
スポーツ庁

基本情報

面積	170.21 ㎢
人口	8,457 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	116 人
部活動数	8 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

津南町における出生数の減少が近年顕著にみられ、団体競技は特にチームとして成り立たないことが懸念される。一方で、教職員の働き方改革により、教職員が担当する部活動で当該競技の専門性がない部活動もあり、教職員にとっても子どもたちにとっても最適な環境とはいいがたい状況である。そのため、生徒数に見合った部活動数に見直すとともに、活動の選択肢を広げていく必要性の双方を考慮しなければならない。令和4年度に教職員、保護者、児童生徒に対して部活動改革アンケートを行い、現在加入している部活動および今後やってみたい部活動等について回答してもらい利用者目線での現状と課題を洗いだした。令和5年度から休日の部活動地域移行の試行実施期間として8種目において始まった。また、すでにクラブチームが主となって中体連の大会に出場してきた競技団体もある。今後、平日の地域移行を見据え、子どもたちが継続的にスポーツに親しむ機会を確保・充実のために近隣市町村との広域連携を進める。また県立津南中等教育学校との連携についても引き続き取り組んでいく。



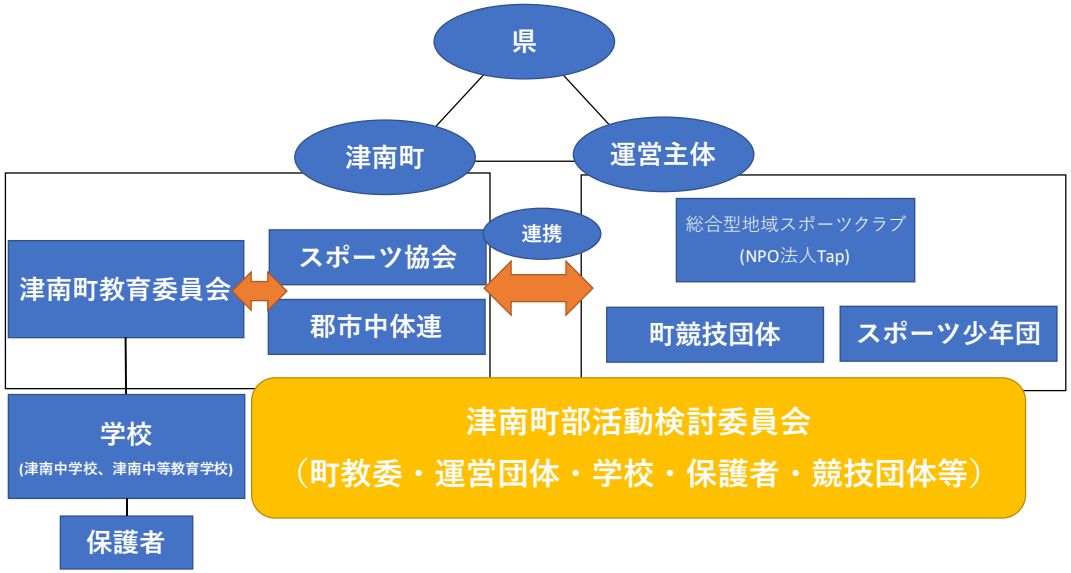
【課題】
今後も減少傾向は続いていくことが予想される。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
学校・保護者・町内スポーツ団体をつなぐコーディネーター役として、津南町部活動検討委員会を開催し、部活動地域移行に関する認識を関係団体で共有する。また、学校と町内スポーツ団体の現状と課題を把握し、課題解決に向けて取り組んでいく。

年間の事業スケジュール

令和6年　4月	保護者説明会（入学説明会）
令和6年　5月	入部説明会・体験入部
令和6年　5月	部活動参加希望調査 休日の部活動地域移行参加希望調査
令和6年　5月	スポーツ団体へ参加希望者の通知
令和6年5月～	各クラブ活動の実施
令和6年　7月	第1回津南町部活動検討委員会
令和6年12月	第2回津南町部活動検討委員会
令和7年　3月	津南中学校、津南中等教育学校入学説明会において生徒・保護者への説明会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	8 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2 クラブ
全体の指導者数	18 人	全体の運営スタッフ数	18 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
津南町スポーツ少年団	スポーツ少年団	バスケットボール スキー（クロカン・アルペン） バドミントン	月 1-2 回	種目による	中学1年生～3年生	5月～3月	津南町総合センターほか	各2人	1人	年会費10,000円程度	中体連部活動 地域クラブ
津南町スポーツ協会	スポーツ協会	陸上 バレーボール ソフトテニス 卓球	月 1-2 回	種目による	中学1年生～3年生	5月～3月	津南町総合センターほか	各2人	1人	年会費10,000円程度	部活動
Tap	NPO法人	水泳	月 1 回	17:30-18:30	中学1年生～3年生	5月～3月	クアハウス津南	2人	1人	月会費5,300円	実績なし

2.実証内容と成果

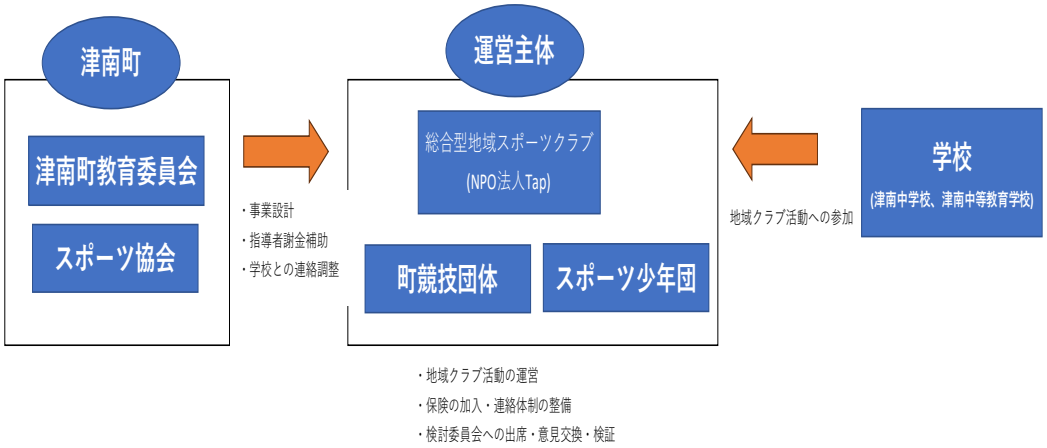
スポーツ庁

主な取組例

●地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、スキー（クロカン・アルペン）、バドミントン、陸上、水泳、バレーボール、ソフトテニス
運営団体名	津南町スポーツ少年団　ほか
期間と日数	5月～3月 月1-2回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団指導者
活動場所	町内公共施設
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	各種目：10,000円程度
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：1,000円/年（手数料込） 指導者１人あたり：2,050円/年（手数料込）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●津南町教育委員会

学校・保護者・町内スポーツ団体をつなぐコーディネーター。

学校と町内スポーツ団体の現状と課題を把握し、課題解決に向けて取り組む。

●指導者　各種目2名

津南町教育委員会と連携を図りながら、子どもたちを指導し安全に目標達成をサポートする。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

津南町は公立の中学校が1校であるため、教育委員会の担当職員がコーディネーターとして運営団体・実施主体と中学校の連絡調整を行う。また、部活動検討委員会を定期的に開催し、団体ごとの進捗状況や課題を確認し、公立中学校および県立の津南中等教育学校とも情報共有や意見交換を実施する。

取組の成果

・令和6年7月と12月に部活動検討委員会を実施し、地域移行受け入れ団体・スポーツ関係団体・県立中等教育学校を含む町内中学校・PTA担当者が集まり情報交換や課題の確認をすることができた。令和6年度から地域移行に取り組む種目が1種目増え、9種目すべてにおいて課題や進捗状況に差はあるが地域に移行した活動を実施することができた。休日の部活動地域移行の完全実施に向けて現状と課題を確認することができた。津南中学校と県立津南中等教育学校の現状や考え方も共有することができた。
また、長期的な視点において平日における部活動のあり方や国の方針を伝えることで、各クラブが今後どうしていくべきかを考えるきっかけにとなった。
・保護者・生徒への説明会を開催し、実際にクラブに参加して活動することで現状と今後への理解を進めることができた。
・十日町市の担当者と情報交換をすることができた。十日町市の現状と今後の方針、また津南町との連携の可能性について具体的な意見交換することができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

・津南町部活動検討委員会の開催
・中学校において保護者・生徒への説明会の実施
・各クラブの参加案内・取りまとめ
・広域連携にむけて近隣自治体の担当者との情報交換

今後の課題と対応方針

部活動検討委員会については今後も定期的に開催し、関係団体で情報共有を図っていきたい。今後、平日の地域移行を見据えた際には、休日の地域移行とは異なる課題も多くあることが予想される。解決方法として近隣市町村との連携を探っていかなくてはならない。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和6年度においても継続して津南町部活動検討委員会を開催し、関係団体が集まり情報共有することができた。スポーツ9種目において進捗状況は異なるが、令和8年度の休日の部活動地域移行の完全実施に向けてそれぞれの立場で課題を確認することもできた。令和7年度以降も定期的に継続していく。また、休日の地域移行の先にある平日の地域移行を見据えて各クラブの在り方を考えるきっかけにもなった。

また、各クラブが積極的に取り組みを進めていけるように町がコーディネーターとして国・県の方針や他の自治体の現状を伝えることができた。

生徒・保護者への説明会を開催し実際に活動が始まることで地域においても現状への理解が広がってきている。その一方で活動が進んでいくことで取り組みに対する疑問や不安の声に対して、町がコーディネーターとしてしっかりと受け止めていかなくてはならない。

●成果の評価

部活動検討委員会を開催することによって、各クラブの進捗状況や課題を確認することができた。また、各クラブに今後の部活動地域移行に関する国の方針等を伝えることによって、各クラブが今度どうしていくべきか考えるきっかけとなった。

保護者・生徒への説明会を開催することで部活動地域移行に対しての理解を進めることができた。

近隣自治体との情報交換をし、今後の方針・取り組みについて確認することができた。

●今後に向けて

部活動検討委員会・生徒・保護者への説明会は関係団体との情報共有や実際に活動する生徒・保護者の生の声を聞く機会として継続していきたい。

各クラブの進捗状況は異なるが休日の地域移行について実施している。進捗が遅いクラブや課題に対しては町が積極的にサポートしていきたい。

また、今後平日の地域移行を見据えて近隣市町村との連携を図っていきたい。近隣市町村との連携の際に課題として想定されるのが、練習場所が遠方になることによる保護者の送迎の負担である。送迎の負担によって部活動を諦めてしまう生徒がでないように対応を検討していく必要がある。

さらに、津南町には県立津南中等教育学校もあるので、学校の事情等も確認をしながら一緒に取り組みを進めていく。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参加者の声

●参加者の声

中学2年生（バドミントン）
学校にバドミントン部はないけど、クラブチームで練習して大会にも出場することができて嬉しい。いい結果をだせるように練習をがんばりたい。

保護者
活動が充実しているクラブとそうでないところの差が大きいような気がする。どのクラブも子どもたちのためにがんばってもらいたい。

中学2年生（バスケットボール）
津南中学校だけだと人数が少ないが、十日町と一緒のチームに入れてもらって新しい仲間も増えて活動が楽しい。大会でも勝てるようにがんばりたい。

保護者
十日町のチームに入れてもらって多くの人数で活動することができてありがたい。いままでは津南中学校での活動であったが、十日町での活動のため送迎は少し負担である。

指導者（バスケットボール）
様々な学校からの選手がおり、人間性やマナーを高めるようにも指導している。そういところが成長しないと技術も向上しない。人間力も磨いていきたい。

指導者（スキー）
津南中等教育学校からも参加してしてくれる生徒や町外からの参加者も増えて嬉しい。他のクラブにも中等から参加してくれると人数も増えて活動が充実する。

指導者（陸上）
現在は休日において月に1回程度の活動であるので、毎回イベントのような感覚なので、回数を増やして定期的に活動していきたい。

指導者（バレーボール）
クラブチームに移行しても津南町は中学校が1校であるため、人数が増えるわけではないのでチームスポーツは維持が難しい。指導者も少なく高齢化もしているので、今後いつまで継続していけるか不安もある。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料

【令和６年度津南町休日の地域移行種目の概要】

令和６年度津南町地域クラブ(休日の部活動地域移行)リスト

活動名	津南町スポーツ少年団				津南ランニングファン(TRF)
種目	バスケットボール	スキー（クロカン）	スキー（アルペン）	バドミントン	陸上（楽しむ）
運営団体	津南町バスケットボール協会	津南スキークラブクロカン部	津南スキークラブアルペン部	SNOW-BIRD(スポ少)	津南町陸上競技協会
活動方針	バスケットボールを楽しもう！ バスケットボールを知ろう！	スポーツ少年団に入って 活動します！	スポーツ少年団に入って 活動します！	心と身体を育てて 大人への階段へ一歩 踏み出そう！	走って津南を知ろう！
対象	津南中・中等前期生の部活動生徒 または部活外の希望者	津南中・津南中等前期生の生徒 (ほかの希望者は要相談)	津南中・中等の生徒	バドミントンスポーツ少年団 加入者	誰でも参加可能
練習日 会場等	月1回第3土曜日 16:00～18:00 津南町総合センター体育館	冬季の土曜、日曜 マウンテンパーク津南スキー場	シーズン中の土日祝日 8:30～15:30 マウンテンパーク津南スキー場 ・オフシーズンの陸トレ (随時実施)	週4回 15:00～18:00(月、水) 20:30～21:30(日、木、スポ少後) 津南町総合センター体育館	月2回毎月第2木・土曜日 木曜18:30～19:30 土曜9:00～11:00 木曜中津川運動公園 土曜各地域
移動手段	各自	各自	各自	各自	各自
大会参加	大会参加は学校単位が基本	スポ少として計画する大会に参加 (中体連大会は各学校対応)	大会参加は学校単位が基本	地域クラブとして 中体連大会に参加	年1回ローカル大会出場
経費	検討中 (別途スポーツ保険料)	6,200円/年(スポ少団費)	8,000円/年(スポ少団費)	12,000円/年(スポ少団費) 5,000円/月(クラブ費) ＋大会参加費	2,000～3,000円/月＋保険代
その他		スポ少加入が条件	スポ少加入が条件 近隣チームとの合同練習あり	スポ少加入が条件	競技志向は他へ

活動名	Tapスイミングスクール	津南ジュニアバレーボールクラブ	津南ソフトテニスクラブ	津南ジュニア卓球クラブ
種目	水泳	バレーボール	ソフトテニス	卓球
運営団体	NPO法人Tap	津南ジュニアバレーボールクラブ	津南ソフトテニスクラブ	TPC
活動方針	元気な心と身体を育てよう！ 水泳を楽しもう！	バレーボールに親しみ 楽しもう！ 自分を表現しよう！ 強い絆で結ばれよう！	ソフトテニス をうまくなろう！	技術力を高め卓球を楽しもう！
対象	津南中・中等前期生の生徒 スイミングスクール参加者	津南中・中等前期生の 部活動生徒 または部活外の希望者	津南中ソフトテニス部生徒 部活外の希望者(高校生も可)	津南中・中等前期生の 部活動生徒
練習日 会場等	選手コース(週5回) 17:30～19:30(月、火、水、金) 8:00～10:00または9:30～11:30(土) 週1回コース／週2回コース 17:30～18:30(月、火、水、木) 18:30～19:30(金) クアハウス津南	月1回 地域の実情に応じて推進 8:30～11:30 津南中体育館	月2回、土日どちらか 8:30～11:30 夏場 津南中または中津川運動公園 冬場 津南中または津南町総合センター	第4土曜日13:00～16:00 津南町総合センター体育館
移動手段	各自	各自	各自	各自
大会参加	R6年度 大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本
経費	選手コース 8,100円/月 週1回コース 5,300円/月 週2回コース 7,000円/月 ＋年間登録料2,200円(保険代含む)	検討中	検討中	200円/1回＋保険料
その他	町外生徒含む		今後十日町との連携あり	十日町卓球協会との連携計画中 練習日等の変更の可能性あり 他チームと合同練習の可能性あり 平日もTPC会員として練習可能

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【バスケットボール（十日町市との広域連携）】



【バスケットボール（十日町市との広域連携）】



【クロスカントリースキー（大会参加の様子）】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和３年	令和４年			令和５年	令和６年
受け皿団体や指導者の選定・依頼	▶ 部活動地域移行検討委員会	▶ 部活動改革アンケート	▶ 生徒・保護者への説明会	▶ 地域クラブ活動の開始	▶ 地域クラブ活動の拡大

●受け皿団体や指導者選定・依頼

津南町において部活動の地域移行を実施するために、指導者確保の観点からスポーツ関係団体、スポーツ少年団からの協力を得ることができた。

●生徒・保護者への説明会

津南中学校および県立津南中等教育学校の入学説明会において生徒と保護者を対象に部活動地域移行の今後の進め方を説明し意見交換する機会となった。学校から説明会の場を提供してもらうことで多くの生徒・保護者と対面で話をすることができた。

●部活動地域移行検討委員会

令和４年度から検討委員会を定期的に実施。当初は休日の試行実施から本格実施に向けての検討会であった。実施にあたっての課題や進捗状況、他の自治体の取り組みについて情報共有する機会となっている。
最近では平日の地域移行を見据えて各クラブがどのように取り組んでいくのか考える契機となっている。

●部活動改革アンケート

部活動地域移行を進めるための参考とするため、教職員・小学生・中学生・保護者を対象にアンケートを実施した。アンケートはインターネットを活用し、学校に協力を依頼し１人１台端末を利用して学校で回答してもらった。結果として高い回答率となり今後の参考とすることができた。

●地域クラブ活動の拡大

令和5年度は8クラブから施行実施をスタートしたが、令和6年度からは1クラブ増え9クラブでの活動となった。年度途中からは平日の地域移行も見据え十日町市と連携するクラブもでてきた。その一方で進捗の遅いクラブもあるので、町がコーディネーターとして課題を把握しサポートしていく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

